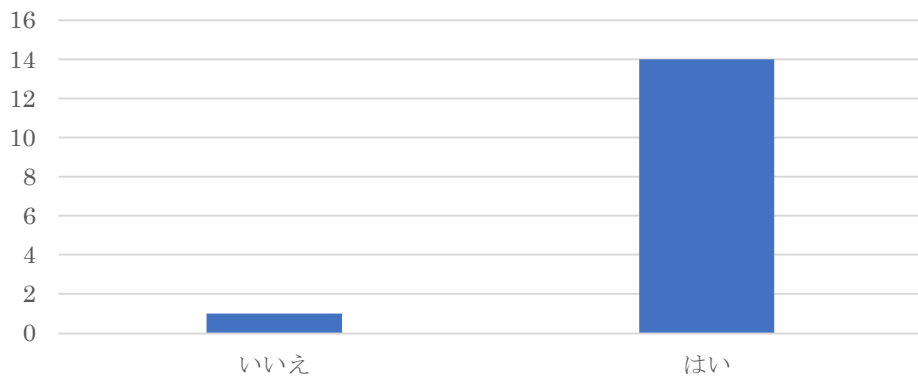
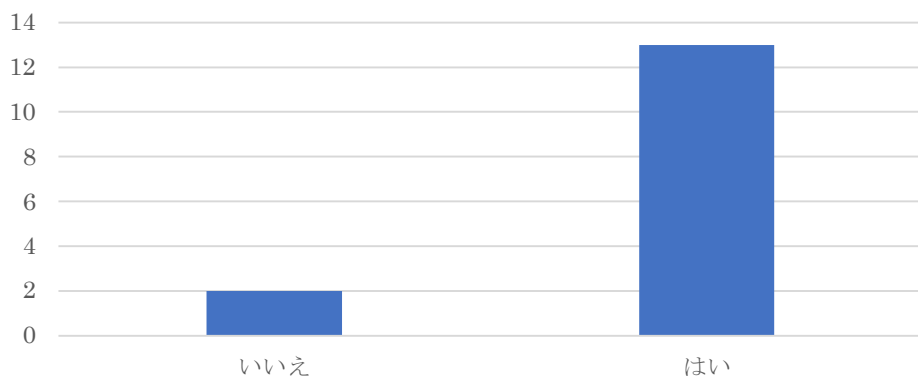


バックアッププロジェクト事業所評価 ひまわりはうす結果

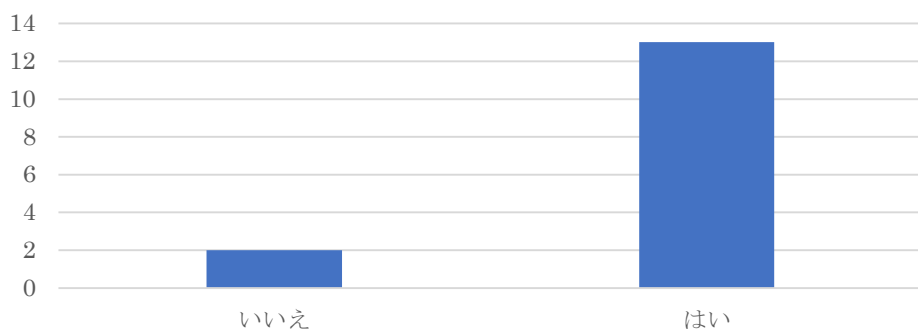
個数 / 管理者、施設長等は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）を明示している



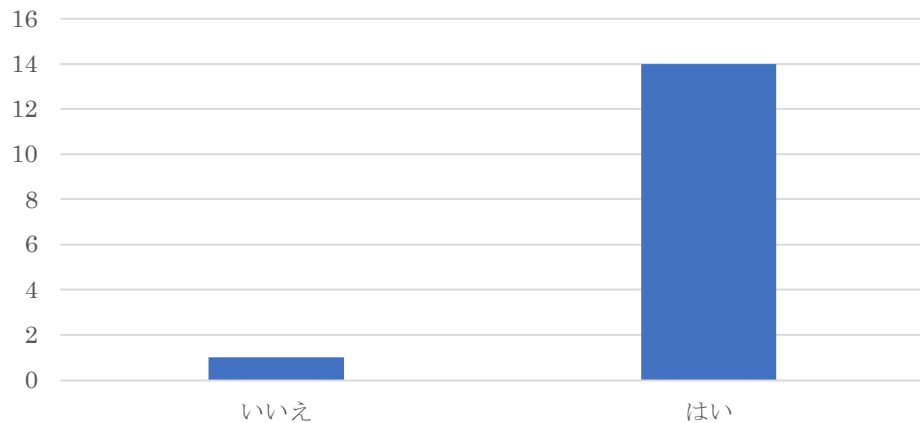
個数 / 事業所が目指していることについて、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている



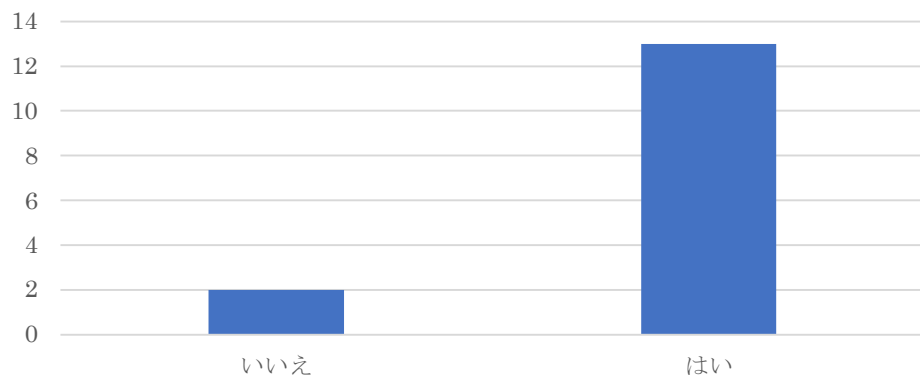
個数 / 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していることを思い起こすことができる取り組みを行っている（会議中に確認できるなど）



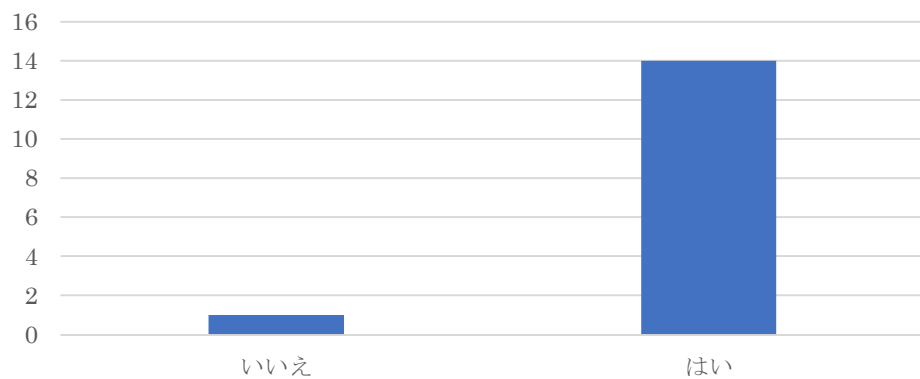
個数 / 管理者、施設長等は、自らの事業所の
役割と責任を職員に伝えている



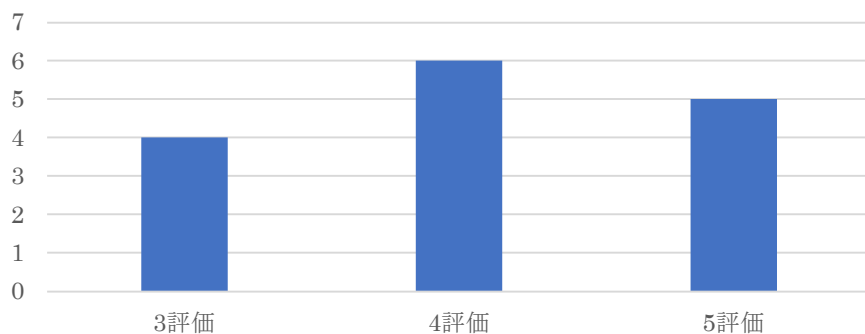
個数 / 管理者、施設長等は、事業所が目指し
ていることについて、職員の理解が深まるよ
うな取り組みを行っている



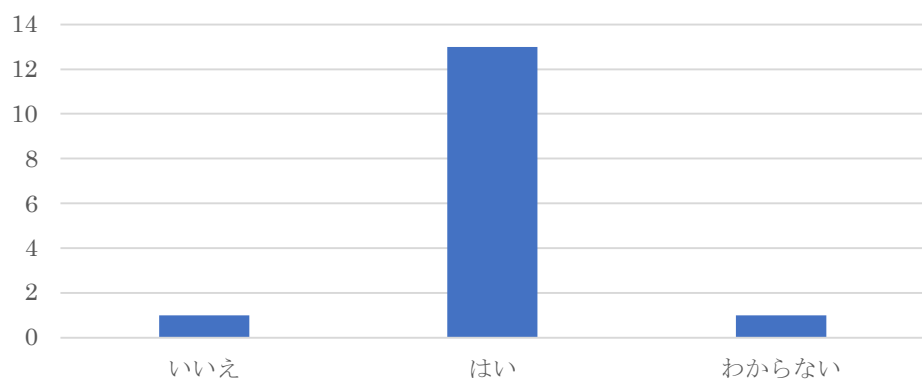
個数 / 管理者、施設長等は、福祉サービスに
従事する全職員に対して、守るべき法・規
範・倫理（個人の尊厳）などを伝えている。



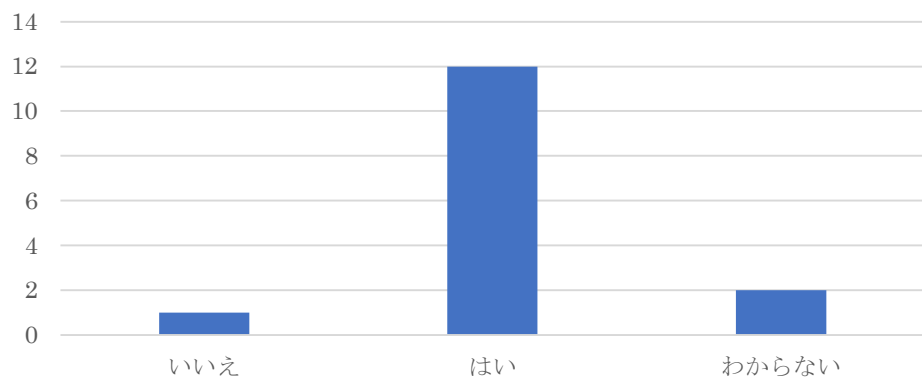
福祉サービスに従事する職員として守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳）などを理解している



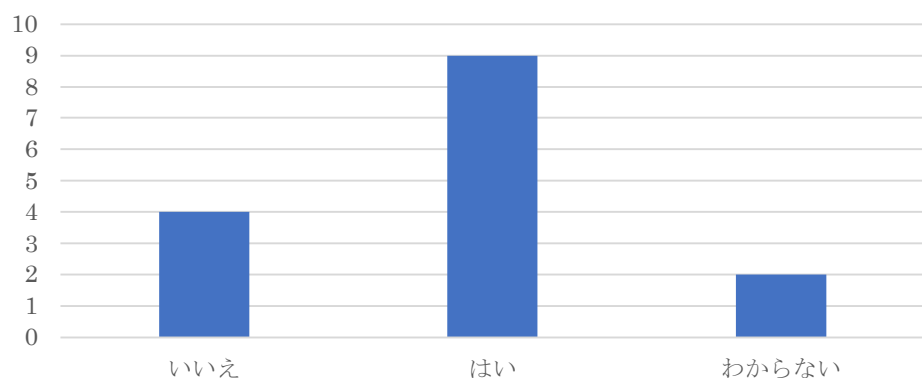
個数 / 事業所のある地域のネットワークに参加している。（自立支援協議会や施設連絡協議会等）



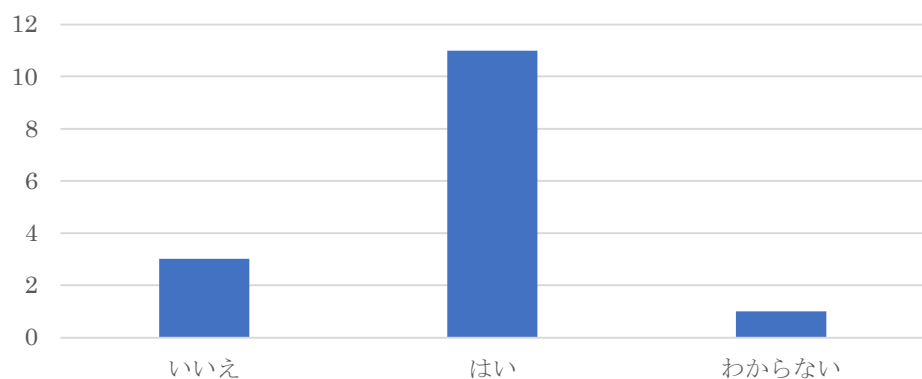
個数 / 利用者の支援を通してみえてきた地域の課題について、行政や他機関と協働して取り組んでいる。



個数 / 事業所の機能や専門性を、利用者以外の地域の人に還元している（施設の開放、個別相談など）



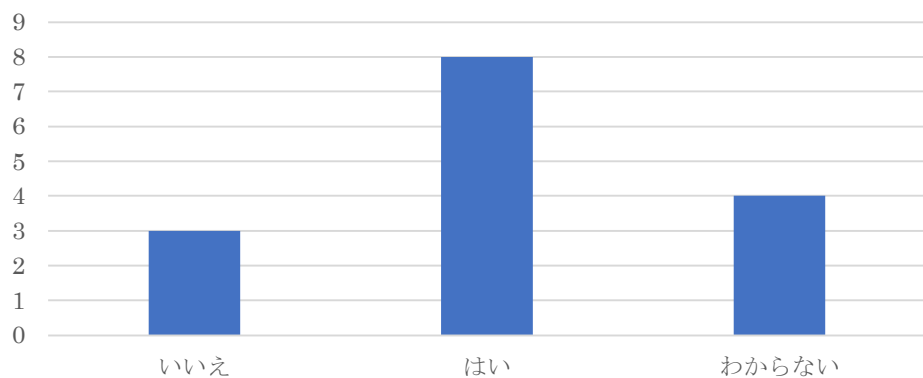
個数 / 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓蒙活動（研修会の開催、講師派遣など）を行っている



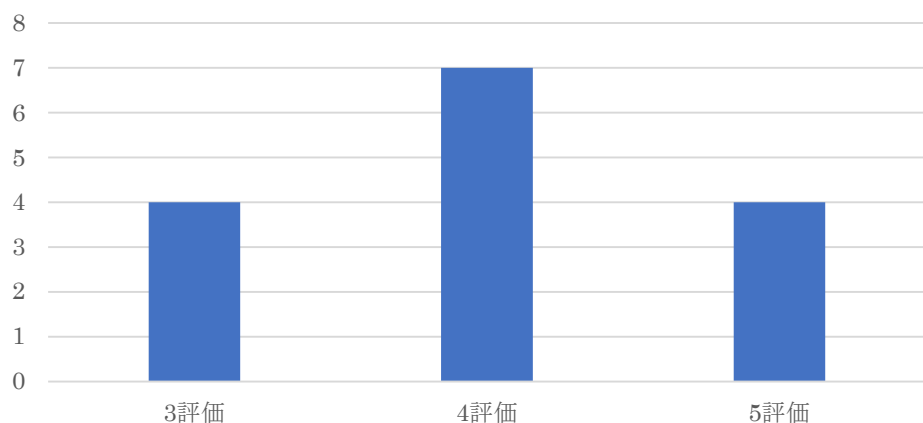
地域に役立つ取り組みや地域との連携において事業所として取り組んでいることを自由に記載してください。

- ・利用者さんの作ったアート作品やキャンドルを展示及び販売する。
 - ・自立支援・日中一時支援
 - ・作ったキャンドルの展示、販売
 - ・ろうそくの販売
 - ・生活介護事業においては、地域の施設等での展示販売等を行っている。また、地域の B 型事業所と併用利用が進むなど、大津市からの委託事業としての役割を果たしているといえる。生活訓練（自立訓練）事業においては、地域の事業所への移行にむけて連携を行い、事業を運営している。
 - ・利用者の作品展を地域で展開することにより、取り組みを知っていただく事が出来た。
- 地域イベントの参加、ろうそく販売
- ・施設のお祭り等を通じ、地域の方々に施設の理解を深めて頂く。実践報告等を通じて取り組んで来たこと等を地域、関係機関等に発信

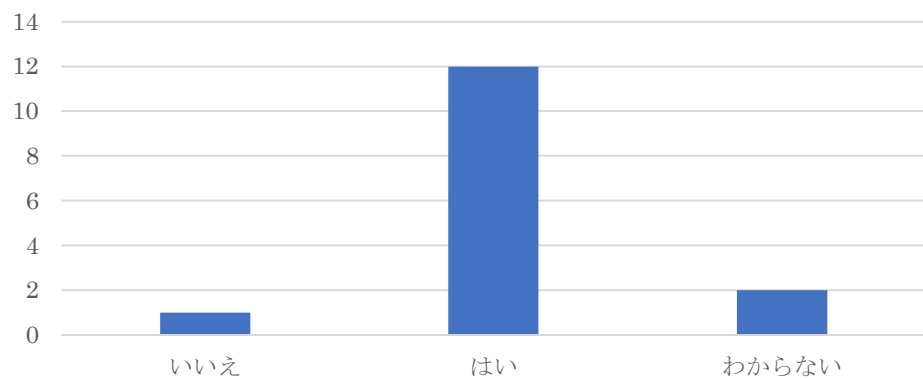
個数 / 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている。



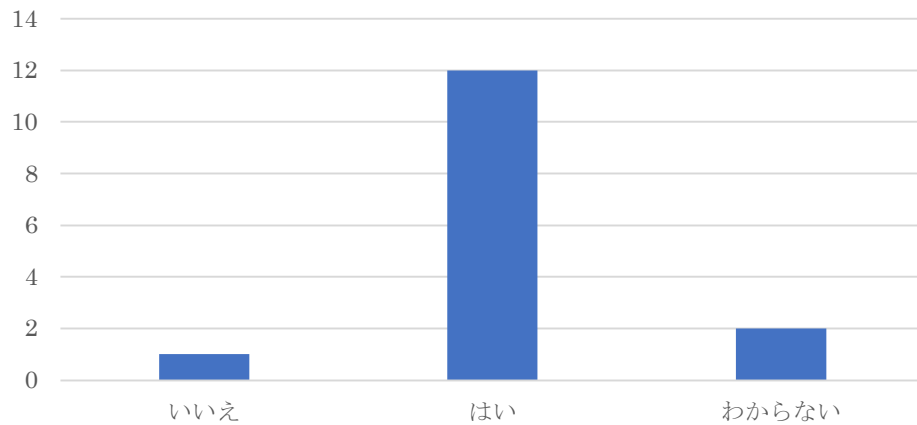
利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる



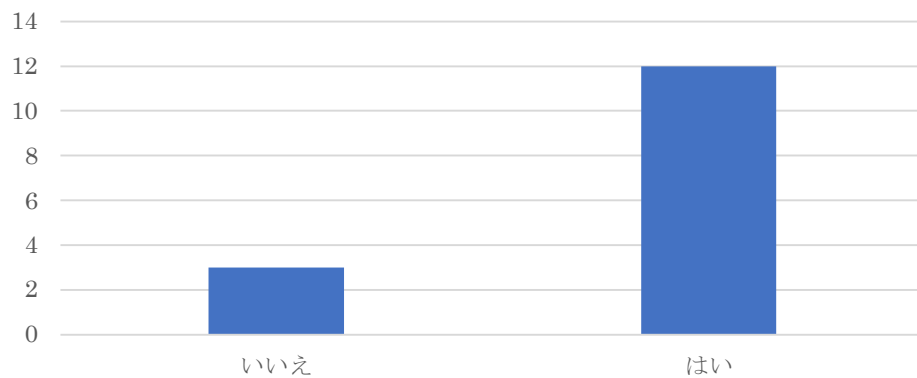
個数 / あなたの事業所は、福祉事業全体の動向（施策や業界などの動き）を収集に取り組んでいる。



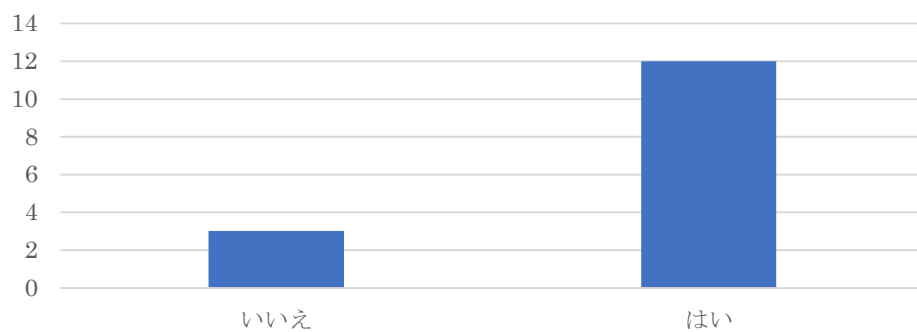
個数 / あなたの事業所は、地域のニーズの収集に取り組んでいる。



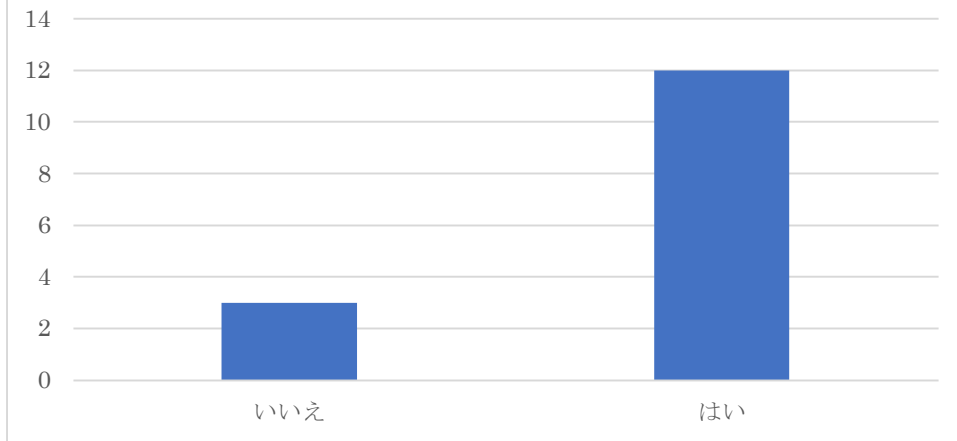
個数 / 管理者、施設長等は、事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成（研修）計画を策定している



個数 / 管理者、施設長等は、職員の研修成果を確認し（研修時・研修直後・研修数ヶ月後など）、研修が育成に役立ったかを確認している



個数 / Off-JTとして自立支援協議会等の外部
研修などに参加している。



支援者としての質の向上に関して思うことを自由に記載してください。

- ・利用者にとって、いいこととなのかを、考えて支援する
- ・何年か経験したうえで、オールラウンダーを目指すのかスペシャリストを目指すのか、考える機会を持てるとよい。単なる人事異動ではなく、事業所、本人にとってどのように質を上げていくかを考える機会となると思われる。びわこ学園は、様々な仕事が経験できるので、そこをうまく活用しながら、キャリアアップできるとよい
- ・各自の都合で研修など思うように受けられないこともあるが、各職員が受けた研修を会議などで還元すること、普段の支援に活かされ、話し合えることで全体の向上に繋がっていると思う。
- ・自分がしている支援の理解と目に見える評価(他者評価も含む)
- ・支援力、チーム力、セルフマネジメント等の拡大をはかれるよう取り組んでいきたい
- ・医療的ケアは時代とともに変化していくものであるため、常に学習が必要である